

第1回日田市中小企業振興推進会議委員発言記録（概要）

日 時：平成30年5月21日（月）14：00～

場 所：日田市役所7階 庁議室

【議題1 平成30年度中小企業振興施策について】

資料1「平成30年度日田市中小企業振興に係る事業一覧」により、事務局から説明。

○経営基盤の安定強化

（委員長）

- ・平成30年度の日田市ビジネスサポートセンターの予算増の要因は何か。

（事務局）

- ・総括のコーディネーターの待遇改善として、報酬を上げさせていただいた。

（委員長）

- ・ビジネスサポートセンターは、よろづ支援拠点と同様、商工会議所や商工会の手の届かない事業所さんを支援している。当然に、それぞれが連携し、ネットワークを組んで企業支援にあたっている。センターの強化としては良いこと。

（委員A）

- ・日田ブランド推進事業について、日田玖珠産業振興センターが主体となっていると思うが、例えば、農協などの団体と連携するといった取組みは、どのようになっているのか。

（事務局）

- ・日田玖珠産業振興センターでは、常日頃から生産者に出かけ、また農協の部会との協議の中で、バイヤーとの商談会等に推薦するといったお声かけを行っている。これにより、商品数の増加や売れ筋商品の固定化を図り、販路拡大・商品の開発につなげている。

（委員A）

- ・日田市のブランド化に向けて、日田玖珠産業振興センターとその他の団体が、それぞれまちまちにやっているように見える、とのご指摘を市外の方から受けることがある。センターがそれらを集約できているのか、その辺を詰めてやっていただきたい。

（委員長）

- ・日田ブランド推進事業の400万円が落ちている理由は？アンテナショップも減額となっている。

（事務局）

- ・日田ブランド推進事業は、委託料が400万円落ちたことが要因。予算要求額通り。アンテナショップは、賃借料額が2年契約となり金額が下がったため。

（委員長）

- ・農産物ブランド推進事業は、農業振興課がやっている。先ほどの意見からも、日田市としてわかりやすくやってもらいたい。ということなんだろう。

（委員B）

- ・アンテナショップの見直しは2年ごとにあるのか？利益はでているのか。

(事務局)

- ・平成27年6月から大丸福岡天神店の地下2階で店舗を構え、現在は、日田市の情報発信と特産物の販売を行っている。KPIの設定は売上げ1億円を設定している。初年度は、期間が短かった関係で7,500万円となり目標に達成していなかったが、以後の2年間は1億円を超えている状況。そういった状況から、今年から賃貸借契約を2年間としていただけるようになった。毎朝、日田玖珠産業振興センターから物販を運んでアンテナショップで販売している。野菜等の販売が主なものとなっており、季節によっては野菜の出荷が少なくなるため、安定的な販売となるようセンターが商品のセレクトをしている状況である。

(委員長)

- ・アンテナショップは、単独で利益を出すのはなかなか難しいと思うが、次の会議で、利益の状況などお伝えいただければと思う。

○中小企業の活用による地域内の経営循環の創出

(委員長)

- ・木育推進事業の購入・木質化は、実績がないので次回の会議に平成29年度の状況説明をお願いしたい。
- ・移住者個人創業支援事業も、実績がないがどうでしょうか。

(事務局)

- ・この事業は、移住者の創業に関し対象業種を絞っている。具体的には、製造業で小売りを伴うもの（パン屋や小物売り）、ソフトウェア・情報処理、デザイン、広告、写真、飲食業としていた。理由としては、作っているところを見てもらい、人が集まるような店舗を想定していた。問い合わせは5～6件あったが、結果としてゼロになった。

(委員長)

- ・次の会議では、問い合わせがあったとかそういったこともわかると良い。付加価値を生み出すようなお店に入ってもらいたかったという意図はわかる。情報発信を含め、実績がでるよう頑張っていたきたい。

○経営の拡大及び新分野への進出の促進

(委員C)

- ・唯一、宿泊が増えているのはインバウンドだと思うが、インバウンド推進事業の予算が減っているのはどういうことか？

(委員長)

- ・次の会議でいいので、宿泊者数の比較ができるものとともに、予算減の理由を準備していただきたい。

(委員D)

- ・企業誘致事業の予算が極端に減っているのは、何か理由があるのか？

(事務局)

- ・助成金ですので、予算要求時点で把握できているもののみを計上している。例えば、年度途中で増設をしたい、といったようなことがあれば各議会で補正している。

(委員長)

- ・予算要求は、実弾が固まってから行うということですね。昨年度は、当初から把握できている案件が多かったということですね。
- ・日田梨輸出促進事業も、予算が大きく減っているのでチェックをお願いしたい。

○創業の促進

(委員E)

- ・うちの相談案件で、今年は既に2件の創業がある。

(委員長)

- ・創業は、いろんな機関の支援によって成り立っているのです、市の計画目標の件数に入れてあげてはいかがでしょうか。市から補助金も出しているのです。

(委員F)

- ・創業は、前年度の後半から少し件数が落ちている状況。平成28年度は件数が多かった。

(委員長)

- ・創業は、結構大事である。

○人材の確保及び育成並びに事業環境の整備

なし

【議題2 平成30年度中小企業訪問調査について】

資料2「平成30年度中小企業訪問調査について」により、事務局から説明。

(委員長)

- ・県は、全県下で500社訪問を行っている。また、振興局管内でも意見交換会をやっているのです話を聞かせてもらって、まとめの内、日田地区のものをもらえばよいと思う。間に合うのであれば、次の会議時に合わせて情報提供していただきたい。
- ・訪問企業は、昨年度と同様の企業から聞き取るのか。

(事務局)

- ・昨年、聞き取った企業と重複する部分も出てくるだろう。

(委員長)

- ・できれば、時系列で取り、追っかけて行った方がよいと思うが、協議して欲しい。
- ・結果については、次回報告があるとのことだが、景況感として、皆さんはどうか。

(委員G)

- ・人手不足の問題が顕在化している。

(委員H)

- ・雇用の問題は、さらに厳しくなっていくだろう。また、事業承継についても2件進めている。第3者への譲渡も含めて。

(委員長)

- ・昨年度、商工会議所が事業承継のアンケートを取っていた。特に、良い技術・良い製品を作っているところはきめ細やかに見てあげる必要がある。

(委員A)

- ・復興需要で建設業関係が上向きになってきている。しかし、雇用の問題。特に運輸業は、仕事はあるけど人はいない、という状況。また、今までは目をつぶっていたようであるが、7月から国土交通省が月293時間以上の労働を運輸業にも認めず行政処分を行う方針とのこと。これにより、中小零細の運輸業は打撃を受ける可能性がある。

(委員B)

- ・今日、会合があるが、進路指導の先生と企業を回ろう、という取り組みを行う。先生方に日田の企業を知っていただき、地元就職を先生方から薦めていただくため。

(委員C)

- ・商店街は、空き店舗・事業承継・人手不足の問題を抱えている。駅前は、今すごく変わってきている中心部の問題は大きい。NINAUが駅前にできたので、協力できればと思っている。

(委員長)

- ・NINAUは、市から委託を受けて2名常駐しているそうだ。立ち上げ時期だから市も支援しているのだろう。
- ・空き店舗対策もいいのだが、特殊なもので続けてもらえればと思っている。

(委員D)

- ・人材不足で外国人に頼らなくてはならない状況。取引先の工場も人が足りないので、研修制度でベトナムの方を雇っている。

(委員長)

- ・国の会議では、単純労働者は入れないという結論で話し合っているので、現段階では、研修生制度ぐらいしかないのだろう。

(委員E)

- ・製材業も外国人研修生が増えてきている。製材の量は、安値安定でいっている。あと、消費税の駆け込みが今後見えてくるだろう。

(委員F)

- ・ふるさと納税をしたらいいものが送ってくるよと、子ども達に薦めているが、品物は日田玖珠産業振興センターが主なのでしょうか。どのようにして商店とか、生産者が産業振興センターにもっていつているのか、その辺のところ聞きたい。

(委員長)

- ・次回、ふるさと納税の対象商品のリストアップやふるさと納税の現況について報告していただきたい。

【議題3 中小企業振興推進会議のスケジュールについて】

資料3「平成30年度日田市中小企業振興推進会議開催日程（案）」により、事務局から説明。

(委員長)

- ・ 去年の会議は、災害の関係で10月に開催されているが、次年度の予算要求に間に合うよう、調整をお願いしたい。

【議題4 その他について】

資料「平成29年度 雇用労働実態調査」により、事務局から説明。

(委員長)

- ・ 次回の会議は、平成29年度の実績や雇用労働実態調査の結果、また50社訪問調査の結果も来る。それらの実績値の良くないものについて、委員の皆さんからご意見をいただければと思う。
- ・ 平成28年4月に条例ができて2年が経過した。こういった Plan Do C が円滑に回っていくように皆さん方から活発にご意見をいただくことが大事。
- ・ 事務局には、平成29年度の実績で良くないところについて、少し研究して皆さんに報告した方がよいと思います。

(委員G)

- ・ 雇用労働実態調査は、企業名を書かせなかったらもうちょっと集まったのではないだろうか。なかなか難しいところだろうが。特に社員さんのアンケートの方は。

(委員長)

- ・ 郵送にしては、まあ集まった方だとは思いますが、今回は企業名の部分について配慮することも考えてはいかがだろうか。

以 上